

【道路事業（県事業） 事後評価審議資料】

○事後評価実施箇所一覧表	・・・p. 1
○事後評価箇所表	・・・p. 3
○説明資料（パワーポイント）	
④ 道路改築事業	・・・p. 5
「主要地方道金山明宝線 小川・畑佐工区」	

令和5年度 事後評価実施箇所一覧表 2月5日審議箇所

[県土整備部 道路建設課]

番号	担当課名	事業		事業採択年度	完了年度	全体事業費(百万円)			事業名	路線・地区・河川名等	実施箇所(市町村名)	対応方針(案)			備考
		補助・交付金	県単			上段：当初	下段：最終	今後の事後評価の必要性				改善措置の必要性	新規事業へ適用すべき留意点		
	道路建設課	○		H12	R3	7,600		7,600	道路改築事業	主要地方道金山明宝線 小川・畑佐工区	郡上市	今の段階では必要無し	今の段階では必要無し	施工中の周辺住民への配慮等、環境に配慮した事業の実施を推進していく。	

令和5年度 事後評価箇所表

番号	4	事業名 (路線名等)	道路改築事業 主要地方道 金山明宝線 小川・畑佐工区
事業実施箇所	ぐじょうしめいほうおがわ 郡上市明宝小川 ~ ぐじょうしめいほうはたき 郡上市明宝畑佐	全体事業費	(当初7.6億円) 7.6億円
採択年度	平成12年度	完了年度	令和3年度
事後評価の実施基準	改良延長L=2.0km以上、全体事業費10億円以上で事業完了後、概ね1年経過したもの		
事業目的	<p>主要地方道金山明宝線は岐阜県下呂市金山町を起点とし、岐阜県郡上市明宝畑佐へ至る延長約37kmで、緊急輸送道路にも指定されている重要な幹線道路である。当該事業はこのうち郡上市明宝小川～郡上市明宝畑佐の隘路区間について改良するものであり、災害時に有効に機能するネットワークの確保、雨量規制区間の解消、隘路・線形不良箇所の解消による円滑な交通の確保を目的としている。</p>		
事業概要	<p>事業延長：3,380m 車道幅員：2.75m×2車線 主要構造物：めいほうトンネルL=1,653m、畑佐橋L=24m、相谷大橋L=115m、道谷橋L=13m、廣橋L=20m</p>		
概要図			
標準横断面図			

評価結果	
① 住民参加・協働による効果	<p>○地元の小学生や地域住民を対象とした見学会を開催した。</p> <p>○めいほうトンネル記念碑の除幕式には、地域住民も参加し、事業への理解と愛着の醸成を図った。</p>
② 事業の効果	<p>○災害時に有効に機能するネットワークの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当工区の整備により、第2次緊急輸送道路として災害医療拠点や防災拠点などを結ぶ災害時のネットワークを確保し、広域的な防災支援に寄与した。 <p>○雨量規制区間の解消</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当工区の整備により、郡上市側の雨量規制区間が解消され、常時通行を確保した。 <p>○所要時間短縮による郡上市街地へのアクセス性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅員狭小の解消や線形不良区間の回避により走行性が向上し、移動時間が短縮され、小川地区から郡上市街地へのアクセス性が飛躍的に向上した。 <p>○費用対効果分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B/Cは1.0であり、一定の効果が見込まれる。
③ 環境面への配慮	<p>○畑佐地区の切土法面において在来種による緑化を行い、自然環境への影響を緩和し景観へ配慮した施工を実施した。</p> <p>○トンネル内部や両坑口付近のLED照明を採用し、環境負荷を低減した。</p>
④ 事業を巡る社会経済情勢等の変化	<p>○平成27年度に「濃飛横断自動車道 金山下呂道路・和良金山道路」が開通した。</p> <p>○令和5年度には「濃飛横断自動車道 堀越峠道路」が新規事業化した。</p> <p>○小川地区では高齢化と過疎化が進行しているが、供用後は、郡上市方面の病院への通院や明宝小学校・明宝保育園への通学・通園に当工区が利用されている。</p>
⑤ 利用者・地域住民等への効果	<p>○利用者ヒアリングでは、「走行性」「所要時間の短縮」それぞれで9割以上が満足・やや満足と回答し、効果を感じている。</p> <p>○地域住民アンケートでは、「整備に対する満足度」の項目で9割以上が満足・やや満足と回答し、効果を感じている。</p>
⑥ 対応方針(案)	<p>○今後の事後評価の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「災害時に有効に機能するネットワークの確保」「雨量規制区間の解消」「所要時間の短縮による郡上市街地へのアクセス向上」等の効果が確認され、地域住民アンケートにおいても、満足度、有益性ともに高い評価を得ていることから、今の段階では必要なし。 <p>○改善措置の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・供用後、事故が発生していないことから、今の段階では必要なし。 <p>○新規事業へ適用すべき留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺住民への配慮や環境に配慮した事業の実施を推進していく。

事後評価 道路改築事業

かなやまめいほう 主要地方道 金山明宝線

おがわ・はたさ
(小川・畑佐工区)

岐阜県 県土整備部 道路建設課
令和6年2月5日

位置図 1



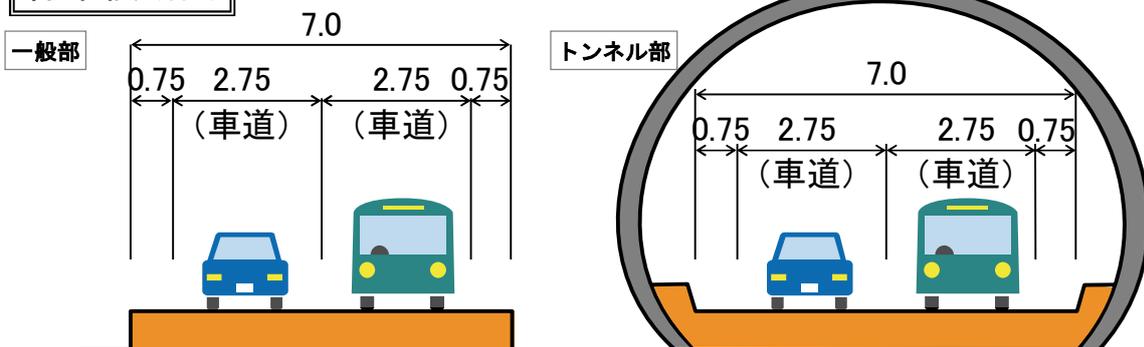
位置図 2



事業概要

- ◆ 起 終 点 : 郡上市明宝小川～郡上市明宝畑佐
- ◆ 全体延長 : 3,380m (トンネル延長 : 1,653m)
- ◆ 総事業費 : 約76億円
- ◆ 事業着手 : 平成12年度
- ◆ 完 成 : 令和3年度 (供用開始 : 令和3年10月27日)
- ◆ 幅 員 : 車道 2.75m×2車線、歩道なし
- ◆ 道路規格 : 第3種第4級

標準横断図



住民の参加・協働による効果

住民の参加・協働による効果

- 事業に対する理解や関心を高めるために、地元の小学生や一般市民を対象とした見学会を開催
- 岐阜県知事等の参加による開通式典や地元実行委員会による記念碑の除幕式の開催

地元の小学生や住民の現場見学会

①小川小学校・明宝小学校見学会



③貫通式後見学会



- ①小川小学校と明宝小学校の児童を対象とした見学会（開催日：平成31年1月29日）
- ②一般市民を対象とした市政見学会（めいほうトンネル2期工事の現場見学）（開催日：令和元年7月29日）
- ③明宝小学校の児童および小川地区住民を対象とした貫通式後の見学会（開催日：令和元年11月27日）

開通式・記念碑の除幕式



岐阜県知事等の参加による開通式典や地元実行委員会による記念碑の除幕式が行われ、郡上市の広報誌で報じられた。
（開催日：令和3年10月17日）

事業の効果①

安全・安心：災害時に有効に機能するネットワークの確保

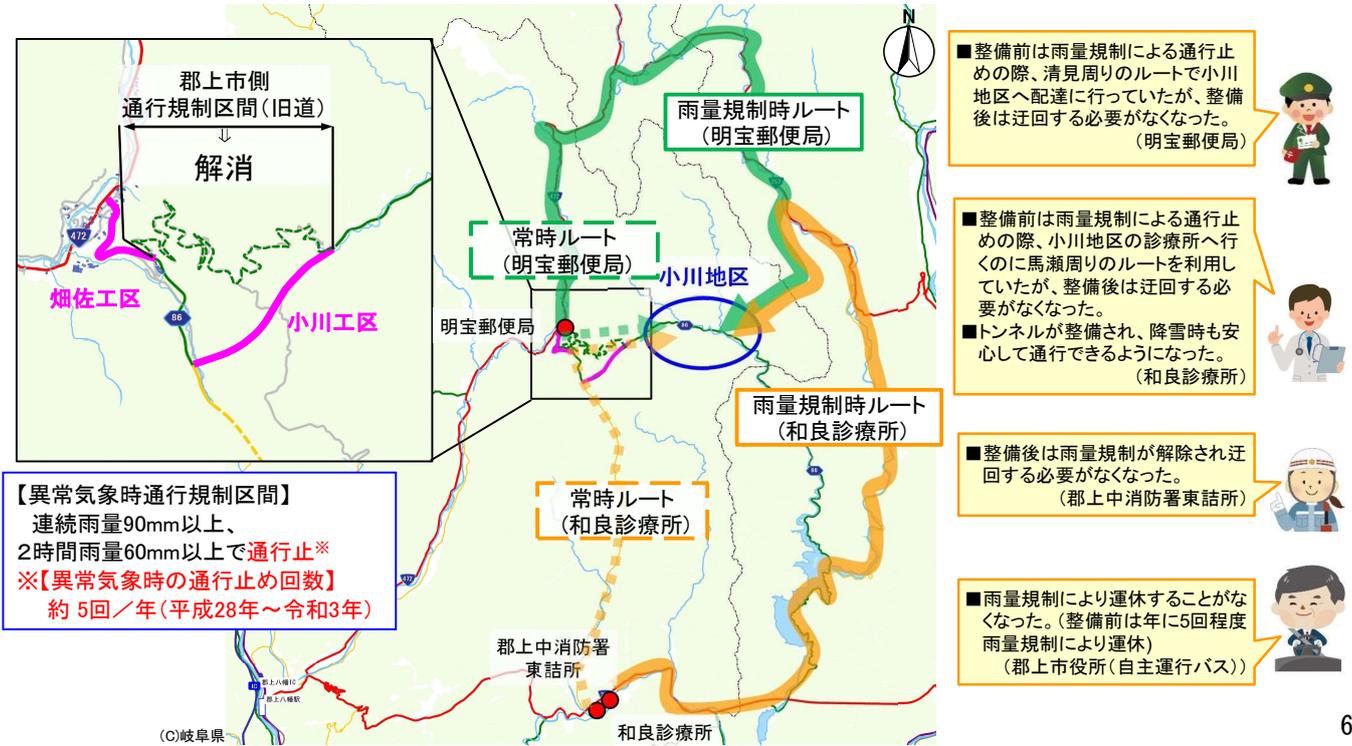
- 主要地方道金山明宝線は第2次緊急輸送道路に指定されており、当工区の整備により災害時のネットワークを確保
- 災害医療拠点や防災拠点などを結び、広域的な防災支援に寄与



事業の効果②

安全・安心：雨量規制区間の解消

- 当工区の整備により、郡上市側の雨量規制区間が解消され常時通行を確保
- 降雪時においても安心して通行することが可能



事業の効果③

活力：所要時間短縮による郡上市街地へのアクセス性向上

- 当工区の整備により所要時間が約22分短縮し、郡上市街地へのアクセス性が飛躍的に向上
- 幅員狭小や線形不良が解消され走行性が向上



費用対効果分析

事業の効果

- 走行時間短縮便益 …… 効果全体の約 85%
- 走行経費減少便益 …… 効果全体の約 14%
- 交通事故減少便益 …… 効果全体の約 1%

投資的效果率

$$\frac{\text{総便益 (B)}}{\text{総費用 (C)}} = 1.0$$

前回再評価時
(H28年度)
1.1

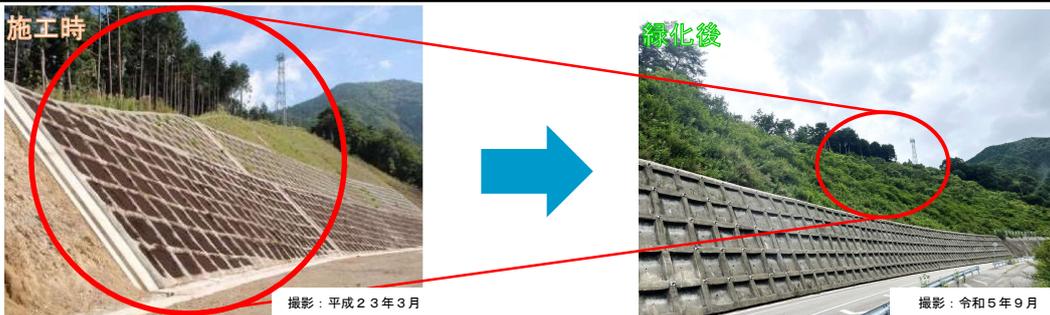
※費用便益分析マニュアル（国土交通省R4.2）に基づき算出

8

環境面への配慮

◆施工法面の緑地回復

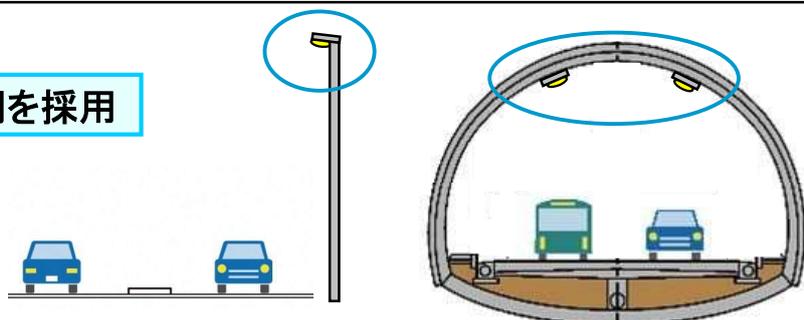
■畑佐地区の切土法面において在来種による緑化を行い、自然環境への影響を緩和し景観へ配慮



◆LED照明の採用による環境への配慮

■長寿命かつ低消費電力であるLED照明をトンネル両坑口付近及びトンネル内部の照明灯に採用し、蛍光灯を用いた場合に比べ環境負荷を低減

照明灯にLED照明を採用

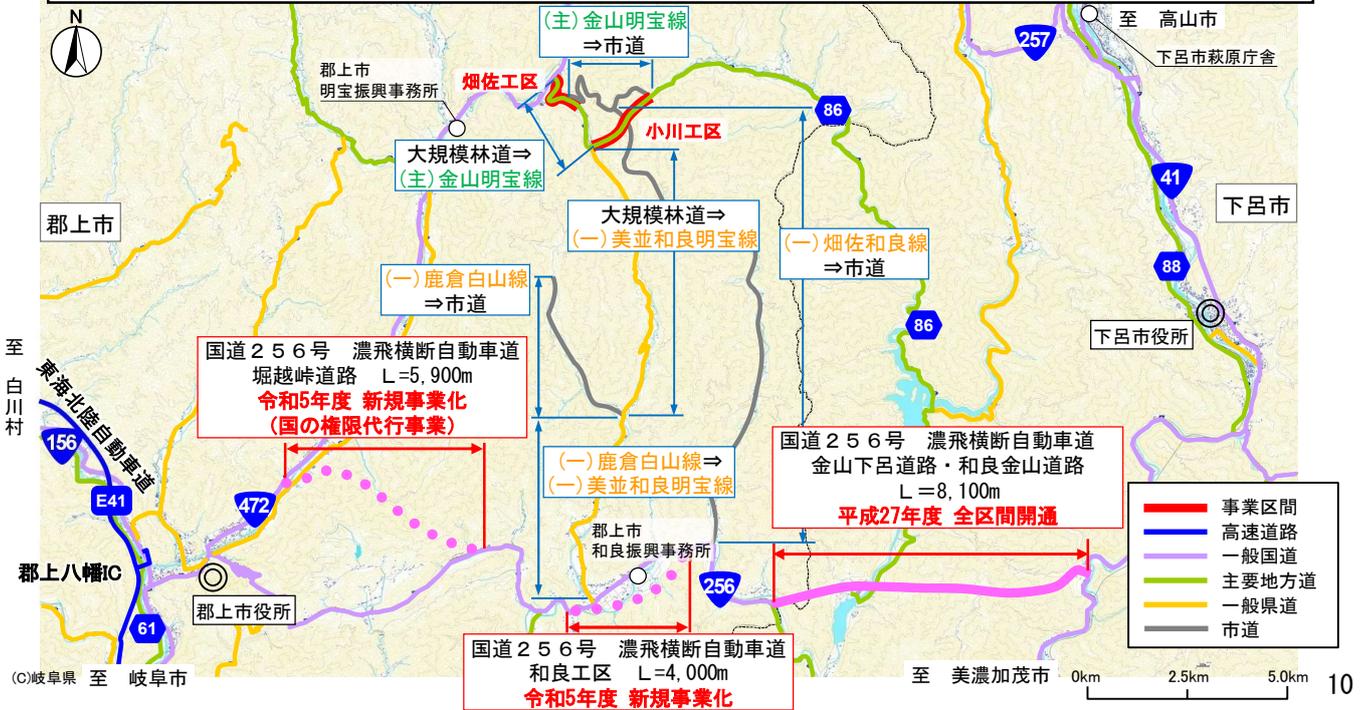


9

事業を巡る社会経済情勢の変化①

◆周辺道路ネットワークの整備

- 当工区の整備にあわせ、周辺の道路網を再編成
- 平成27年度には濃飛横断自動車道 金山下呂道路・和良金山道路が全区間開通
- 令和5年度には濃飛横断自動車道 堀越峠道路・和良工区が新規事業化



事業を巡る社会経済情勢の変化②

◆高齢化と過疎化の進行

- 郡上市街地の病院への通院ニーズの増加（小川地区内の小川診療所は週1日の診療のみ）
- 小川・畑佐工区の整備に伴い、小川地区の小学校および保育園が明宝小学校・明宝保育園に統合（令和4年3月）
- 小川地区では高齢化と過疎化が進行しているものの、道路整備の重要性は高い



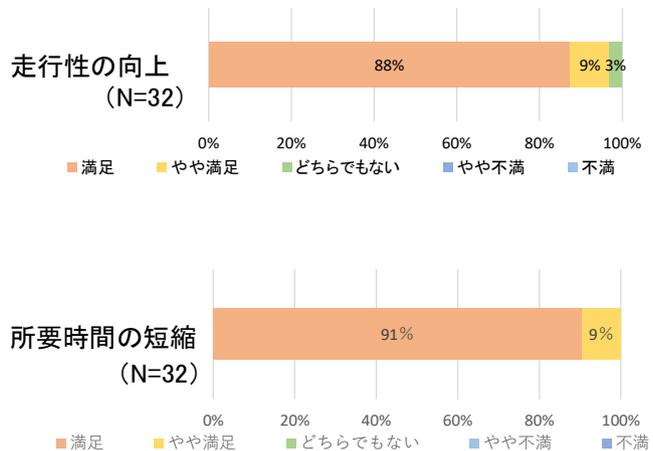
利用者・地域住民等への効果①

利用者ヒアリング調査結果

- 整備区間を通行して来訪すると考えられる周辺の観光施設（道の駅明宝、明宝温泉「湯星館」、道の駅美輝の里）の利用者に対してヒアリング調査を実施
- 走行性、所要時間の短縮について、回答者の9割以上が「満足」または「やや満足」と回答



【整備に対する満足度】

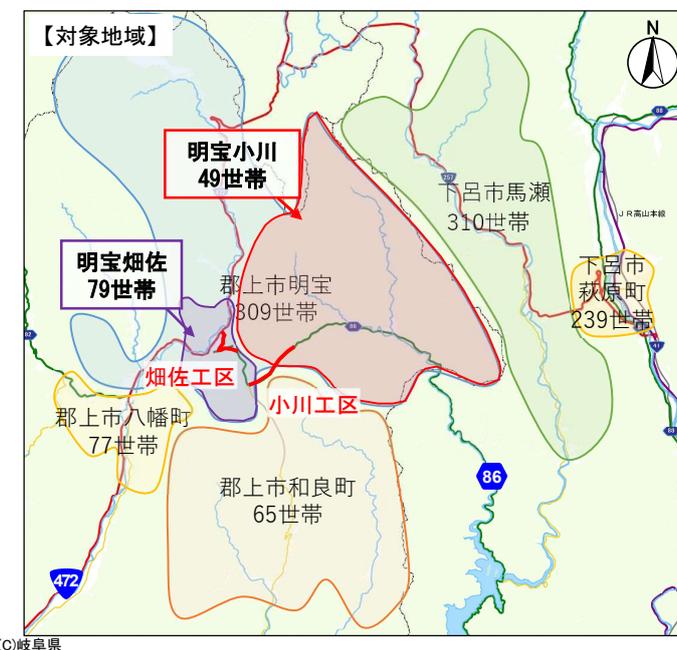


※小川工区・畑佐工区を利用して各施設に来訪し、整備前は旧道を利用して来訪したことがある人に対して質問

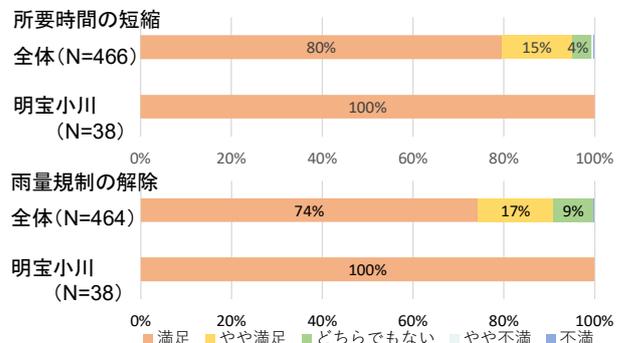
利用者・地域住民等への効果②

地域住民アンケート調査結果

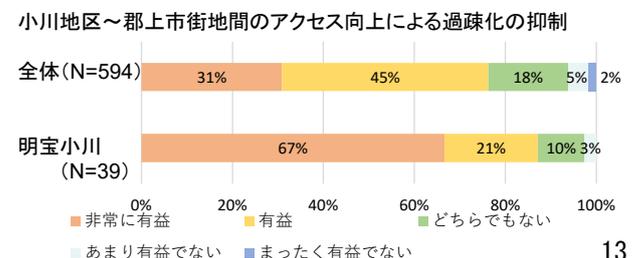
- 当該区間を利用する可能性がある地域住民（1,000世帯）を対象にアンケート調査を実施
- 整備に対する満足度はすべての項目で回答者の約9割が「満足」または「やや満足」と回答
- 地域にとっての有益性はすべての項目で回答者の約8割が「非常に有益」または「有益」と回答



【整備に対する満足度】



【地域にとっての有益性】



対 応 方 針 (案)

◆今後の事後評価の必要性

- 「災害時に有効に機能するネットワークの確保」「雨量規制区間の解消」「所要時間の短縮による郡上市街地へのアクセス向上」などの事業効果を確認。
- 地域住民アンケートでも、満足度、有益性ともに高い評価を得ている。

→今の段階では、今後の事後評価は必要なし

◆改善措置の必要性

- 供用後、事故や危険走行は発生していない。

→今の段階では、改善措置の必要無し

◆新規事業への適用すべき留意点

- 施工中の周辺住民への配慮等、環境に配慮した事業の実施を推進していく。